

新宿区新聞社
編集・発行人 喜田 勇
新宿区西新宿7-1-25
フコシビル新館2ビル



4月号

新都心新聞

THE SHINTOSHIN SHINBUN

購読料6カ月4,000円、毎月25日発行 電話3369-6195 FAX3369-0759

銀座・丸の内・六本木に対抗

渋谷 新宿 池袋

3都市つなく新聞

地区が前年に比べ2割の上昇と躍進をみせた。地価の上昇局面に乗り遅れまいと、商業施設を運営するサンシャインシティは不動産取得部門を強化、その第一弾として京町・竹下通りの商業ビルを取得し、テナント誘致を図った。一方で、ここ数年、銀座と共に地価上昇のけん引役となっていた新宿東口は、路面店の大半が埋まり、新規の商業ビル開業もなかったことが響き、地価上昇率は銀座の半分にとどまった。

新宿、渋谷、豊島の公示地価

今年1月時点の公示地価(国交省)が公表された。五輪に向け、新規商業施設の開業が相次ぐ銀座では前年比に比べ3割上昇。新都心地区では五輪会場の代々木競技場に隣接する原宿表参道

全国の公示地価・高騰ランキング ※単位1㎡あたり

	(万円)	上昇率
山野楽器銀座本店(銀座4-5-6)	5,050	25.9%
対馬ビル(銀座5-4-3)	4,300	-
明治屋銀座ビル(銀座2-6-7)	3,700	28.9%
ZARA銀座店(銀座7-9-19)	3,660	27.1%
丸の内ビルディング(丸の内2-4-1)	3,490	6.4%
三井住友銀行跡地開発(新宿3-807-1)	3,020	14.8%
新宿高野第二ビル(新宿3-30-11)	2,950	15.7%
新大手町ビルディング(大手町2-2-1)	2,680	6.8%
塚本素山ビルディング(銀座4-2-15)	2,580	22.3%
新東京ビルディング(丸の内3-3-1)	2,510	8.8%
東京サンケイビル(大手町1-7-2)	2,510	6.8%

新宿区内で新宿駅東口・新宿通り沿いの新宿高野第二ビル(前年比15・7%増)と、東口(新宿3丁目)と西口(西新宿)が軒並み2桁増の伸びを示した。一方で、銀座が「GINZA」の大半が埋まり、出店余地も乏しい中で、昨年同様、商業施設を相次ぎ開業させている。地価の上昇をみせる中、新宿東口の大型免税店の出店が、大半の上昇をみせる

ドンキ 新宿・渋谷・池袋に新店

動きのなかった昨年より、新宿東口では今年8月以降、商業施設の開業が相次ぐ。地価上昇で銀座に再び迫る勢いが、9月10日時点で新規店舗をそれぞれ出店する。また新宿では新宿通り沿いで8月末にツタヤやキホーテが新店(店舗2人が入居する9階建てビル面積約600平方メートル)を出店する。安福寺日経ビルはアルタ横の三井住友銀行ビルが、渋谷(8・7%増)、豊島(5・0%増)に改称した。

副都心地区では、新宿今年末には明治通り沿いの東口を下回り、銀座に迫る地価の上昇率をみせた。原宿表参道(渋谷区)の五輪会場の代々木競技場に隣接。繁華街の賑わいと五輪需要を見込み、今年9月には明治通りと竹下通りの交差点に23階商業・オフィスビル、これを表参道に

副都心地区では、新宿今年末には明治通り沿いの東口を下回り、銀座に迫る地価の上昇率をみせた。原宿表参道(渋谷区)の五輪会場の代々木競技場に隣接。繁華街の賑わいと五輪需要を見込み、今年9月には明治通りと竹下通りの交差点に23階商業・オフィスビル、これを表参道に

副都心地区では、新宿今年末には明治通り沿いの東口を下回り、銀座に迫る地価の上昇率をみせた。原宿表参道(渋谷区)の五輪会場の代々木競技場に隣接。繁華街の賑わいと五輪需要を見込み、今年9月には明治通りと竹下通りの交差点に23階商業・オフィスビル、これを表参道に

訪日需要が新宿は鈍化

表参道20%、銀座は30%アップ

新宿の公示地価(商業地) ※単位1㎡あたり		
上昇率の高かった地点	(万円)	上昇率
新宿高野第二ビル(新宿3-30-11)	2,950	15.7%
三井住友銀行跡地開発(新宿3-807-1)	3,020	14.8%
H&M新宿店(新宿3-5-4)	1,550	14.8%
松岡セントラルビル(西新宿1-7-1)	1,520	12.6%
新宿ライオン会館(新宿3-28-9)	1,550	10.7%

渋谷の公示地価(商業地) ※単位1㎡あたり		
上昇率の高かった地点	(万円)	上昇率
大西ビル(神宮前1-13-11)	1,440	20.0%
原宿丸ビル(神宮前1-6-11)	695	14.9%
第9SYビル(神宮前6-23-3)	558	14.8%
TOHOシネマズ渋谷(道玄坂2-6-17)	1,590	14.4%
みずほ銀行渋谷中央支店(宇田川町23-3)	2,160	14.3%

豊島の公示地価(商業地) ※単位1㎡あたり		
上昇率の高かった地点	(万円)	上昇率
ビック池袋東口カメラ館(東池袋1-1-4)	1,100	12.1%
第7野村ビル(南池袋1-21-5)	570	8.6%
池袋COASTビル(南池袋2-27-6)	283	8.0%
エキニア池袋(西池袋1-17-10)	531	7.3%
ホテルオーザ(東池袋1-22-14)	167	7.1%

待機児童対策

2年で0人の定員拡大
渋谷区では、待機児童解消を最重要課題の一つとして位置付け、平成28年度は300人以上の定員拡大を実施し、平成30年度に600人以上の定員拡大を予定しています。これからは安心して子育てのできる保育環境の整備を推進してまいります。

1、2歳児の受入れ強化
新宿区は平成28年4月の待機児童数が58名と前年から10名減少しましたが、さらなる二歳児に対するため、29年4月までに保育定員を524名拡大。また、さらなる40名程度の1、2歳児を受け入れる体制を整えました。29年4月の待機児童数は昨年と比較して改善が見られるものと見込んでいますが、30年4月までにさらに700名の定員拡大を計画し、待機児童ゼロを目指し多様な手法で保育定員の拡大を進めます。

29年度末までゼロ達成を
豊島区では、平成29年度末までに待機児童をゼロにするべく、平成27年度からの3年間で千18名の保育の受入枠を作る「子ども子育て支援事業計画」を策定しました。今後も「平成29年度末までに待機児童ゼロ」を達成すべく着実に取り組みを進めてまいります。